

いけんひろば
～「結婚」「子育て」したい？したくない？～
報告資料

令和6年7月28日（対面開催）
令和6年7月29日（オンライン開催）

目次

1. 開催概要

2. 参加者の意見

- 結婚・子育ての希望について
 - 将来、結婚や子育てをしたいと思っているか
 - 自分や周囲の人が、結婚しない・できない・しようと思わないのは、何が要因だと思うか
- 国や自治体による支援について
 - 自治体による結婚支援の取組についてどう思うか
 - ライフプランニング支援についてどう思うか
 - ほかに、結婚の希望をかなえるために、国や自治体にやってほしいことはなにか

3. 参加者アンケート



1.開催概要

1. 開催概要

テーマ	「結婚」「子育て」したい？したくない？
担当省庁	こども家庭庁
参加対象者	ぷらすメンバーのうち、高校生世代～20代
テーマ説明	結婚や子育てに対して、若者がどのような認識や課題感を持っているかについて、ご意見をいただきたいです。

対面回

開催日時	令和6年7月28日（日）10：30～12：30
開催場所	こども家庭庁（東京都千代田区霞が関3丁目2番5号 霞が関ビルディング）
参加人数・グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ A班・・・社会人世代5名 ➤ B班・・・高校生世代・大学生世代3名 ➤ C班・・・高校生世代4名 ➤ D班・・・大学生世代5名

オンライン回

開催日時	令和6年7月29日（月）19：00～21：00
開催場所	Webex
参加人数・グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ A班・・・高校生世代4名 ➤ B班・・・大学生世代3名 ➤ C班・・・社会人世代4名

2.参加者の意見

～結婚・子育ての希望について～

将来、結婚や子育てをしたいと思っているか



将来結婚したい/したくないと思いますか。なぜそう思いますか

結婚したい

- 必ず結婚したいと思っている。また、自分が忙しい時に助けてくれる、絶対的に信頼できるパートナーがいることで、お互い支え合えるという安心感が得られると思う。
- こどもは好きなので、周りから強要はされたくないものの将来的には結婚・子育てをしたいと思っている。

結婚したくない

- あまり結婚したくないと思う。しばらくは一人でのびのびして趣味にお金を使いたい。結婚したら、時間等で縛られると思う。
- 今は趣味など自分の時間を大切にしたい。女性にとっては、結婚が社会的に不利な状況になる場面もあるので、この状況が変わらないのであれば、結婚・子育てに対してあまり積極的になれない。

どちらともいえない

- したいと思う気持ちと、したくない気持ちがある。プラスの面よりマイナスの面の方が多く見えてきてしまう気がする。
- 理想的にはしたいが、現実的にはしたくないというのが正直な意見。理由は、結婚という1つの工程を踏むだけで、ありとあらゆるお金と責任を伴うことになるから。自分がやりたいことと、結婚や子育てとが両立できるか分からない。
- 今はあまり結婚・子育てを考えていない。経済的に余裕をもつことと、結婚や子育てのどちらを選ぶべきかわからない。



結婚にこだわらなくてもよい

- 結婚しなくても、パートナー（異性と同性の両方を含む）として一緒に暮らすことはできる。こどもを作るという目的がないのなら、結婚しなくてもいいのではないかと思う。

結婚をする理由は何だと思えますか

誰かと一緒にいたい

- 寂しがりやなので、誰かと一緒にいたい。
- COVID-19に感染しホテル療養をした際に、親が頻りに連絡をくれた。親がいなくなった後も、気に掛けてくれる人と自分が気に掛ける人がいたら良いなと思う。

老後の支えのため

- こどもには申し訳ないが、こどもが老後の世話やお葬式をしてくれると思う。
- 老後の独りぼっちを避けるためもあると思う。

社会的地位のため

- こどもを生む手段と、社会的ステータスだと思える。結婚している人の方が社会的ステータスは上だという風潮があると思う。
- 法律婚は事実婚より法律上優遇される。



将来、結婚や子育てをしたいと思っているか

どのコミュニティでの出会いが良いと思いますか どういったコミュニティでの出会いが多いですか

学校

- 大学とサークル。本人だけでなく友人関係も人となりを表すと思っている。友達にしても恋人にしても、色々な人と関わる場面を見て、自分が相手の友達とも合うかを知るのが大事。
 - 自身の周囲は同じ高校で交際・結婚している人は多い。
 - 大学のサークルは出会いが多いと思う。毎週集まり、長時間一緒に過ごしたり飲み会に行ったりすることで、交際に発展すると聞く。
- マイナスイメージのある人の意見
- 学校では、狭い価値観しかないように見えてしまう。そのような狭い価値観をくだらないと思っている。

職場

- アルバイト先は同じ仕事をしていて、忙しい時間も過ごすので人間性が出る。そんなときに価値観の合う・合わないがわかる。
 - 両親は職場結婚しているし、自身の周りでも職場恋愛している人も多い。相手の個性が見えてきやすいのは、長い時間一緒に過ごす同じ職場の人などになるのかもしれない。
- マイナスイメージがある人の意見
- 職場恋愛は気まずい。また、昨今、様々なハラスメントに気を付けないといけない風潮があるので、職場恋愛しづらいかもしれない。

マッチングアプリ

- そこまで抵抗感はない。長期間メッセージのやり取りをしていけば、出会ってもそこまで大きくは変わらないと思う。マッチングアプリを利用してうまくいっている人は幸せそうにしている。
- 周囲の人は、マッチングアプリでの出会いも多いと思う。

○マッチングアプリに対する要望

- 探している相手の目的や、実際に会う前に連絡を十分に取りたいか、あるいはすぐに会いたい質問項目があると分かりやすい。
- もしマッチングアプリを利用するなら、価値観や人となりはメッセージだけでは分からないので、電話や対面で話したい。
- もう少しセキュリティがしっかりしたらいい。

○マイナスイメージがある人の意見

- マッチングアプリで「詐欺にあった」「お金だけ取られた」「マッチした相手が約束の場所に来なかった」といった話を聞くと、万が一同じことがあったら嫌だなと思う。
- マッチングアプリや合コンは性質上、男性であるか女性であるか、どちらかの性に属さないといけない。異性の中で評価されるというより、人間として評価されたい。
- マッチングアプリでは、男性の方が出会いを求めている利用人数が多かったり、利用金額が高かったりすると思う。



将来、結婚や子育てをしたいと思っているか

どのコミュニティでの出会いが良いと思いますか
 どのようなコミュニティでの出会いが多いですか (続き)

合コン



- 合コンはよくあり、自分も参加していた。合コンで出会った人と付き合う人もいるし、飲み仲間になり友人を紹介してもらい付き合うこともある。合コンは様々な目的で行われると思う。

その他

- ボランティアは良い出会いの場だと思う。いろいろな種類があり、みんな気さくに年齢、男女問わず話せるから出会いの場としていい。
- 今通っている塾は年齢の壁も感じないので自然と仲良くなれる。
- 趣味が同じなのは良い。ネット上の知人と付き合い合った友人がいる。

将来子育てしたい/したくないと思いますか。なぜそう思いますか



子育てしたい

- 小さい子をお世話したときにやりがいを感じたので子育てはやりたい。
- 小さい弟の世話が楽しいので子育てに関しては楽しくできると思う。

子育てに対する不安がある

○妊娠・出産・育児に関する不安

- 女性の負担が大きいと思う。親の責任も大切だと思う。
- 子育ては、妊娠・出産が大変そう。つわりはきつそうだし、精神的にも不安定になるので大変そう。
- どうしたらいいか知識面で身につけていないのが未知数なので不安。

○仕事等との両立に関する不安

- 特に幼少期は、親自身の時間が確保できないと思う。
- こどもの面倒を見たいけど自分がやりたいことをやりたいので、両立はすごい難しいと思う。
- 父親が育休を取ったとき、周囲から批判されたことがあり、制度はあるものの利用しづらいと感じる。将来、休みを取りたいがためらいそう。

○経済的な不安

- 一番の原因はお金。大学に進学するのが当たり前の風潮となってきたので、大学の費用が捻出できないとこどもを産めない。

○家族や地域からのサポート不足に関する不安

- 三世帯世帯は助け合いができるが、今は親とこどもの二世帯の家庭が多くてそれが難しい。
- 地域の人とは関りが少ないので子育ての助けを求めるのは難しい。

○その他の不安

- こどもが大人になった時に今の日本はどうなっているか不安に思う。
- こどもに対する周りの目が厳しくなってきたと感じる。
- 「安心してこどもを預けることができる場所」が少なすぎると思う。

将来、結婚や子育てをしたいと思っているか



何歳ごろに結婚・子育てしたいですか

20代

- 23～24歳で結婚を考えはじめた。同世代の友人は25歳を節目に本気で結婚を考え出す人が多いと思う。27歳くらいで結婚したい。24歳で社会人になり、3年間キャリアを積んだあとに結婚するのが理想的だと思っている。
- 仕事に慣れてくる20代後半から30代前半までが最も結婚しやすい時期だと思う。

30代

- こどもが20歳になった時の年齢から逆算して、自分がまだ仕事をしているかどうかの年齢である30歳ごろが良いのではと思っている。十分な収入を得て、自分以外にお金を使えるようになるのが30歳ごろだと考えている。
- 母が30歳ごろに自分を出産したので、30歳ごろが結婚・出産の適齢期なのではと感じている。
- 社会的地位を得て十分な収入を得られるようになる30歳半ばから40歳になる手前ごろにならざるを得ない。

こどもは何人を希望しますか



- 少なくとも2人、収入に余裕があれば3人欲しい。
- 理想は2人だが現実的には1人だと思う。2人だと1人にかかるお金や時間が減ってしまう。時期としては、結婚してから5年以内には1人目が欲しい。

- 年収次第で持てるこどもの数は異なると思う。希望は2人以上だが、大学進学率が上がっている状況を踏まえると金銭面が心配。



自分や周囲の人が、結婚しない・できない・しよと思わないのは、何が要因だと思いますか

相手を見つけるのが難しい

- 人と直接会う機会が減っていることが、結婚する人が少なくなっている原因の一つだと思う。
- 結婚する人が減少している要因は適切な相手がいないことが大きいと思う。
- 自分の時間や仕事に集中したいという意見もあると思う。同じ価値観の人を探すのが難しいと思う。



自信がない・理想が高い

- 出会いがあっても自信がなくて踏み出せない人がいそう。男女ともに相手に求める経済力が高まっているので、年収が低いと「自分は選ばれない」と思い、結婚を諦める人が存在するかもしれない。
- 結婚相手に対して求める収入や学歴などの理想が高まった結果、出会いにくくなっているのだと思う。

結婚生活に対する不安がある

○結婚相手との関係に関する不安

- 結婚すると、少なからず結婚相手と不仲になると思う。そうした体験談をSNSでよく目にする。

○結婚時や結婚後の経済的不安

- 「結婚はお金がかかる」などの意見が一般化している。
- 子育て世代が「経済的に困っている」ことが前提で、支援が必要なものと思ってしまうので子育てをネガティブに捉えている。



結婚の優先度が低い

○ほかに幸せと感ずることがあるから

- 人が幸せに感ずるものが多様化してきたことも要因の一つかもしれない。幸せの在り方が多様化してきたことで、結婚の優先順位が下がってきているのだと思う。
- 自分の時間が無くなることが一番の要因だと思う。結婚相手と一緒に暮らさなくてはならないし、こどもがいれば時間が無いと思う。

○結婚を幸せと感ずる環境が少ない（少なかった）から

- 恋愛経験がないまま大人になると恋愛や結婚の優先度が下がる。
- 学生時代は自分のことで手いっぱい結婚の意識が持てなかった。児童養護施設という一般家庭とは異なる環境で過ごしてきたため、結婚に対するイメージを持てなかった。



その他の意見

- バツイチという表現は良くない。社会的に悪く思われてしまうのが、結婚に対する抑制材料になっていると思う。
- 付き合ったら周りの目を気にしたり、相手に気を遣ったり、考えないといけないが増える。恋愛も「面倒臭いこと」として避けられるようになっているのかもしれない。
- 結婚できない人については、体質的な問題や個人の感ずがあるのので本人の意思を尊重すべきだと思う。
- 「結婚したらこういふ幸せがある」というポジティブなことを身近に知る機会があり、前向きになれる経験があると、結婚に対して前向きになってもらえると思う。大学の講義で結婚のメリットをインプットする機会があれば、結婚や子育てへの考え方が変わるかもしれない。

2.参加者の意見

～国や自治体による支援について～

自治体による結婚支援の各取組についてどう思いますか

全般について

- 行政の「産めよ・育てよ」というメッセージが見え透いて、あまり乗り気になれない。結婚や出会いの場を提供する取組自体は良い。

AIマッチングシステムについて



○プラスイメージがある人、または違和感がない人の意見

- 自治体のアプリはセキュリティがしっかりしていると聞く。それをもっと大々的に説明したら安心して使えると思う人が多そう。

○マイナスイメージがある人の意見

- 自治体を実施しているAIマッチングシステムは信ぴょう性が高いと思うが、登録者数が有名な民間企業のアプリより少ないと思う。
- 良い人は対面で出会っている可能性が高いので、AIマッチングを利用する人はよほど困っている人なのではと思ってしまう。

結婚支援ボランティア・婚活イベントについて

- 参加条件がハードルになっている可能性があると思う。
- スペックに自信がない人が参加できるのか疑問である。
- 未婚にコンプレックスを感じているとなかなか中々行きづらい。そのような人たちに行政がピンポイントで情報を届けることが重要。

地元での婚活イベントについて

○プラスイメージがある人、または違和感がない人の意見

- 地元が同じ人と交際できるとすぐに会えるので良いと思う。
- 地元の中学校・高校でお互い知っている人だと、初めて会う人より安心感がある。

○マイナスイメージがある人の意見

- 地域の風土が気になる。



自治体による結婚支援の取組についてどんな改善点がありますか

認知度向上・興味がない人へのアプローチ

- インフルエンサーに頼んでサービスを広げてもらうのが良い。
- Instagram、X、YouTube広告を使って支援を周知したら良い。
- 年代ごとに周知のアプローチを変えると良い。
- 足を運ぶほどでもないと思う人にどうアプローチするかが大事。職場や大学などで行事として入れるのがいいのではないかな。
- 結婚支援等のイベントに参加したら特典があるようにしてはどうか。

あったら良いと思うサービス・支援

- 結婚や子育てについて、いちから教えてくれて、道しるべやアドバイスをくれる場所があるといい。身近に相談ができる場所があるといい。
- 「婚活・結婚」をストレートに支援するよりも、同窓会支援といったアプローチも良いのではないかな。
- 家庭環境は様々かと思うのでいろんなことを吸収できる幼少期から道徳の授業などでコミュニケーションについて学ぶ機会を作るのが良い。
- 結婚する前の若者を支援することも大事である。子育て支援のために増税をされたら、若者は結婚自体が無理になってしまう。

ライフプランニング支援についてどう思うか

これまでライフプランニングについて学ぶ機会がありましたか

あった

- 小学校であったかもしれない。「生きやすい社会」であることが前提の夢のようなプランニングだと思う。金融教育を同時しなければ理想と現実が乖離しすぎてしまうと思う。
- 中学または高校の総合の授業で、人生について考える機会があったと思う。人生でどんなことをしたいかグラフに書きながら考えた。
- 高校の授業で、自分の理想の展望を実現するための長期的なライフプランを立てる練習をした。学んだ内容は、NISAやiDeCo等。
- ボランティア活動をしていたNPOで同様の講座を受けたことがある。

なかった

- 家庭科の授業で裁縫や料理といった実務的なことは学んだが、何歳で結婚といったライフプランニングはしなかった。
- 出産適齢期については教科書に書いてあることのみで、簡単にしか学んだことがないと思う。



ライフプランニングに関して、どんな内容の話を聞いてみたいと思いますか

結婚・子育てについて

- 同世代の夫婦や子育て中の人から話を聞くのが良い。経験しないと分からないことがあるし、実体験を交えてくれるとイメージしやすい。

お金について

- 社会に出るまで国の制度や支援、税金、お金の使い方に関することを教えてもらう機会は一切なかった。小・中学生には概要を教え、高校生にはより実用的な内容を教えたほうが良い。

仕事について

- 様々な職業を体験できたらライフプランも考えやすい。
- 職業紹介の本で勉強するよりも、かみ砕いてこの職業はこのように人の役に立つということを学べると思った。

その他の意見

- 自分が作成したときは結婚という項目があらかじめ組んであるなど「型」があった。もっと自由にライフプランを作れたほうが良い。
- 色々な価値観を知ってみようという授業があればよい。
- 自発的にライフプランニングすることはあまりない。計画する機会を設けてもらうのは有意義なことだと思う。
- ライフデザインをしても、型にはまった計画しかできないのではないか。中学を卒業して働くのか、大学院まで行って研究者になるのかといった将来のことは想像しづらい。他の人のライフデザインを批判せず参考に見ることは役に立ちそう。





ほかに、結婚の希望をかなえるために、国や自治体にやってほしいことはなにか

ほかに、結婚の希望をかなえるために、国や自治体にやってほしいことは何ですか

出会い・婚活支援

- 「街コン（街ぐるみで開催される出会いのイベント）」は自治体ごとの特色を生かした場所で実施すると良いと思う。
- 結婚助成金の給付対象を拡大して欲しい。
- 結婚を押し付けるべきではない。結婚したいと思っている人の中からどれだけ結婚する人を増やせるかが大切だと思う。

相談体制の整備

- 専門資格を持った人がライフデザインについて話をしてくれると良い。
- 結婚後も面倒を見てくれる相談相手がいたら良い出会いが増えると思う。どんな人でも行きやすい・話しやすい相談所があったら良い。
- 出会った後の支援は大切。子どもがいない夫婦がリフレッシュしたり、同じ悩みを抱えている人同士が出会えたりする場所があると良い。
- 安心して子育てできる場所が地域にあると良いと思う。

結婚や子育てに関する教育

- 結婚や子育てに関する情報発信を大学のカリキュラムに盛り込む。大学は出席すれば単位になるというメリットを盛り込んで、講義っぽくない感じでやれると楽しいと思う。
- 「望まない妊娠」について、乳幼児の遺棄などのニュースを見ていると、女性のみ逮捕・報道されて、男性には言及されないことが疑問。諸外国に比べて性に対する教育が進んでいない。女性に対するケアがないと、恋愛や結婚などに踏み込めないと思う。

子育て支援

- 産前産後ケアをより充実して欲しい。1週間預けられる場所、いつでも駆け込める場所、おむつの変え方・教育の仕方などを助産師から教えてもらう場所を用意してくれたら出産・妊娠のハードルが下がる。
- 家事等の負担を軽減し、子どもといる時間を増やす支援が欲しい。
- 児童手当でより大きい金額を出すなど大胆な案があると良いと思う。
- 障害や基礎疾患を持った子どもが産まれた際に、仕事復帰できない可能性がある。「障害や基礎疾患を持った子が生まれた際には国がサポートします」と言ってくれれば安心感が全く違う。
- 親の仕事が長引いても、安心して任せられる地域住民との付き合いがあったら良いと思う。



労働環境の改善

- 夫婦で同時に1年以上、あわよくば2～3年間の育休がとれるといい。育休を取ったあとは、勤務に慣らすために少しずつ、勤務日数を増やしていくようにできると本人の負担も減るし、子どもにとっても良い。
- 育休を取った人の周りの人がお金をもらえる制度を導入している企業が増えて、安心して育休を取得できるような社会になって欲しい。
- 産まれた時から世話をしないと男性はパパである自覚が出ないと思う。赤ちゃんの時から関わる機会を夫婦で持つことが大事。
- 子どもが1歳くらいであれば、幼稚園や保育園のお迎えにちゃんと間に合う時間に退社できる会社の雰囲気や制度があるといい。

ほかに、結婚の希望をかなえるために、国や自治体にやってほしいことはなにか

ほかに、結婚の希望をかなえるために、国や自治体にやってほしいことは何ですか（続き）

社会の意識を変えること

- 社会の意識を変えるところから必要。社会全体が結婚や子育てに対するサポートや配慮をしないと、SNSでネガティブな情報に触れている人等は結婚に後ろ向きになると思う。
- 同性婚や事実婚、夫婦別姓に社会が寛容になれば良いと思う。

- SNSでインフルエンサーを活用してPRし、結婚に対するイメージを変えていくのがよい。発信は発信者が誰かということが大事。
- こどもの存在が自然に目に入る社会になると良い。たとえば、カフェ併設の保育園では、カップルが「こどもが欲しいね」という会話になったり若い友達同士でも結婚について考えるきっかけになったりすると思う。

その他の意見

- 国が地域やジャンルごとにどんな支援があるのか、どれくらいのお金が必要なのかなどを網羅的に掲載しているWebサイトがあれば良い。
- 自身は論文を執筆しており、結婚しても姓を変えたくない。結婚に伴う手続きもより簡素化されれば良いと思う。

- 国民一人一人にアンケートをとるだけで国の問題点がわかると思う。
- こどもを増やす必要や人口を増やす必要はないと思っている。
- 結婚は自分のことなのに他人に助けってもらうのは申し訳なく感じる。離婚も結婚も自己完結した方が周りに迷惑をかけなくて済んで良いと思う。

出会い、婚活、結婚、子育てにおいて、知っておきたい情報は何か

経験談

- 経験者から実際に話を聞けることが大切だと思う。色々な人から話を聞くことで困りごとの防止や解決ができると思う。
- 働き方に関する情報は欲しい。周囲の友人も子育てで自分のキャリアがストップすると考える人が多い。

相手の価値観

- 結婚では、結婚前から価値観をすり合わせるべきだと思う。カップルで取り組める価値観チェックシートがあると良いと思う。無料性格診断のようにアプリやSNSなどで気軽にできるものがあると良い。

家事育児の分担

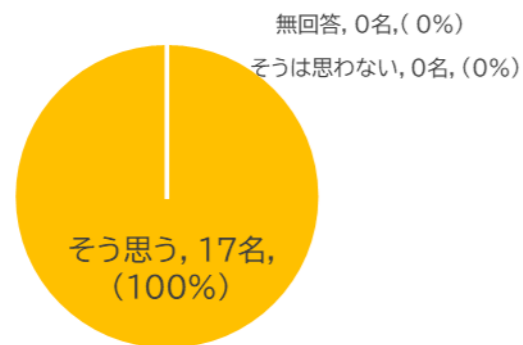
- 結婚では、夫婦が家事・育児をどれだけやれるかが大事であり難しいと思う。色々な生活の人がいるので、家事・育児のやり方について様々なプランを選ぶことができれば、話し合っただけで負担が減る。



3. 参加者アンケート

3. 参加者アンケート（対面） ※一部を抜粋して掲載

「いけんひろば」に参加してよかったですか？



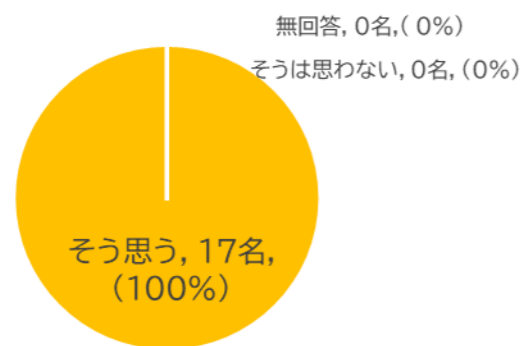
「そう思う」の理由(自由回答)

いろいろな人と結婚や子育てについての話し合いができ、自分にはなかった考え方や意見がありとてもためになった。

自分の意見が政策につかわれるかもしれない。

意見が尊重されるような環境であって居心地がよかったから。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと(自由回答)

結婚・子育てのどちらも密接に関わってはいるが、話が飛んでしまうことも多かったので時間が足りなかった。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

また参加したいと思いました。私たちの意見が施策に反映頂けたら幸いです。

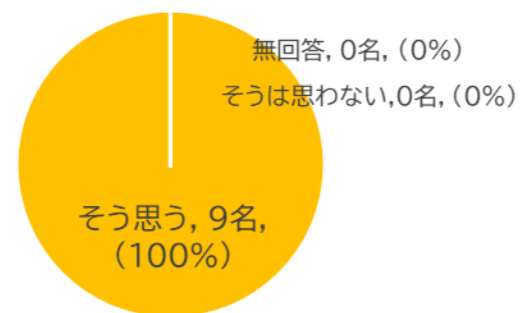
初めての参加だったので、最初は少し緊張したけれど、いざ始まるとアイスブレイクの時間からとても楽しく話すことができました。

自分だけの力で同世代の人と集まって一つのテーマについてディスカッションする、というのはほぼ不可能に近いのでこのような場面を設けていただけたはとてありがたかったです。

3. 参加者アンケート（オンライン）

※一部を抜粋して掲載

「いけんひろば」に参加してよかったですか？



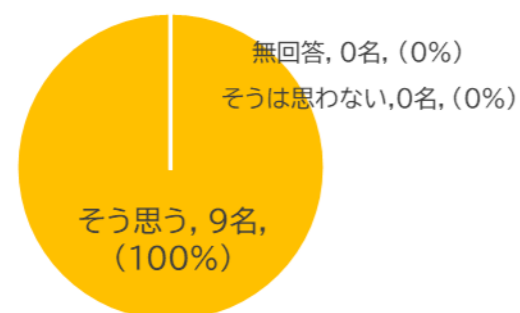
「そう思う」の理由(自由回答)

自分の考えを全員が真摯に聞き、考えてくれていた。ほかの人の考えを聞くことにより、自身の考えの幅が広がったため。

自分が日頃思ってたことを言えた。スッキリした。

自分にはない意見はもちろん、自分の意見の深化の役にも立ち、大変有意義であったため。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと(自由回答)

政策の面についてもっと話したかった。

過去と現在の経済感覚の違いによる問題点について議論してみたかった。

結婚してから困難に思うことや、子育ての難しさについても経験者にお話を伺ってみたいと思うようになりました。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

多種多様なバックグラウンドをもつ参加者の方と意見交換をできたおかげで、自分には今までなかった視点で考えるきっかけを得ることができてよかったです。

「結婚」に関する質問項目がメインだったことと、結婚と子育てとは違った課題があると思うが、いっしょくたに扱われているように感じたことが気になった。

楽しかったです。今後の人生観にも影響してきそうです。